

藤和けんこう通信



2012年9月号 VOL.23

人生90年!!!

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）
小田急相模原駅徒歩6分 神奈川県相模原市南区南台4-13-23 TEL 042-855-0420

人生90年時代、いくつになっても生きがいを！！

総人口の24%に！！

敬老の日を迎えて総務省が発表した推計で65歳以上の人口は3074万人で、初めて3千万人を突破したことが16日分かった。前年から102万人増え、総人口に占める割合は0.8ポイント多い24.1%と過去最高を更新した。



『65歳は高齢者ではない』

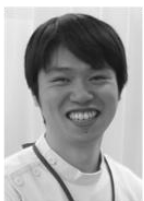
聖路加病院の田野原重明理事長・名誉院長は朝新聞の連載で『65歳は高齢者ではない。近年元気に働くシニアが多くなり、高齢者をすべて弱者と見なす仕組みでは、現役世代の負担増に歯止めがかけられない』と述べております。確かに、最近はとても元気なシニア世代が増えてきていますね。ある調査によると、自分自身の健康に自信があるほど『生きがい・充実感を感じる』割合が高く、健康や体力に自信がない人では下がるそうです。当たり前と言えば当たり前ですが、健康がなにより大切か、年齢を重ねるほど実感できるのですね。

長寿クイズ

世界最長寿者記録は122歳と164日の女性です、さてどこの国の人でしょうか？？

- ①フランス人 ②日本人 ③ペルー人

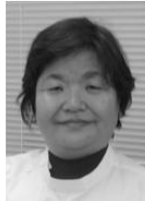
答えは次のページ



須藤 新



石黒 一星



添田 眞理子



板垣 鋭司



榎本多佳子



松本勝則



牧口隆一



河内 宣夫



若井清美

90歳以上の患者さんもたくさん

当院の訪問マッサージを受けている患者さんでも最近では90歳以上の方が増えてきています。また訪問治療だけでなく、院内治療では自分の足で通ってきて下さる元気な90歳の患者さんがいます。健康長寿の秘訣は『歩く事』と聞きました。運動→健康→長寿→充実感の好サイクルとなるようですので、われわれスタッフも忙しいを言い訳にせず、見習わなければなりません。

8月26日、お世話になっているアルプスの杜陽光台(グループホーム)にて納涼祭が開催され、藤和マッサージでは健康チェックコーナーのブースを出させて頂きました。

当院のブースでは、握力測定、平衡バランス測定や落下棒反応テストなどの健康スポーツテストや板垣鋭司氏による東洋医学的健康チェックコーナーをやらせて頂きました。

納涼祭では、食べ物や飲み物はもちろん、バザーや輪投げなど様々な催しがあり、関係者から近所のお子さんまで幅広く大勢の参加者で活気にあふれていました。

スイカを頂き、きれいな花火もみれて、とても素敵な一日となりました。ホームの皆様ありがとうございました。

来月、孫がひとり増える予定です。孫に甘いのが当然のおじいちゃんと自覚はしていますが、かわいくてたまりませんので、、また甘やかしてしまうでしょう。本当に楽しみです！
板垣

参加させて頂いた納涼祭では、やきとりにヤキソバ、フランクフルトとたくさん食べさせて頂きました。健康スポーツテストでは平均値にいかない種目もあり、継続的な運動が必要と痛感しました！！
槌本



長寿クイズ 答え・①フランス人

確実な証拠のある世界最長寿者記録は

フランス人のジャンヌ・カルマンさんで122年と164日です。(1875～1997)

日本人最長寿記録は名古屋市の猪飼たねさんの116歳と175日(1879～1995)



介護機器、保険適用対象に 利用拡大に期待

(2012年7月30日 日本経済新聞)

政府は介護・福祉に役立つ先端機器（介護ロボット）への公的保険の適用範囲を拡大する。歩行・食事など介護される人の自立を助ける機器、入浴・車いすへの移乗など介護する人の仕事を助ける機器などを介護保険の対象とする。必要な機能を絞り込んだうえで2015年度から利用料の9割を補助する。

介護士の不足に対応すると同時に、国内メーカーに安価で使い勝手のいい製品の開発を促す。介護支援機器の保険適用の先例として、政府は12年度から寝たきりの人の排せつを支援する機器を対象に組み入れた。

3年に1度の対象見直し年度となる15年度から本格的に適用範囲を拡大する考えで、今年度中に経済産業省と厚生労働省が新たに保険適用する補助機器の種類を選定する。安全基準や現場での実証試験に欠かせない安全性の検証手法も構築する。

認知症、急増の300万人超…65歳以上の1割

(2012年8月24日 読売新聞)

認知症高齢者は現時点で300万人を超え、2002年の149万人から、この10年間で倍増していることが、厚生労働省の推計で明らかになった。

65歳以上人口の10人に1人にあたり、従来の予測を大幅に上回る急増ぶり。厚労省は来年度から新たな認知症対策を始めるが、体制整備が急がれる。

調査は、02年段階の推計以来。今回は、10年時点での介護保険の要介護認定のデータから、日常生活で何らかの支援が必要な認知症高齢者数を推計した。10年時点では、その数は280万人（65歳以上人口に占める割合＝9・5%）。12年段階では、305万人に達しているとみられる。

前回の推計を大幅に上回った背景には、急速な高齢化に加え、認知症の啓発が進み、受診者が増えたことが大きいと見られる。社会の関心の高まりを受け、診断する医師も増えた。

診察から24時間経過後の死、警察への届け不要

(2012年9月4日 読売新聞)

厚生労働省は3日、自宅で療養していた患者が医師の診察から24時間を経過して亡くなくても、医師の診察で問題がないと確認すれば、警察への届け出は不要であることを都道府県や関係団体に通知したと発表した。通知は8月31日付。

医師法で、亡くなる直前の24時間以内に医師が診察していれば、医師は死亡診断書を書けることになっているが、24時間を超えた場合の明確な言及はない。「警察への届け出が不可欠」との誤った解釈が広がったため見解を示したという。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

TOWA
藤和

藤和マッサージ TEL 042(855)0420

〒252-0314相模原市南区南台4-13-23 (小田急相模原駅徒歩6分)